

18 学校に病院ができた

自分のけんこうを守るために、どんなことができるのか考えよう。

多くの学校が避難所になり、たくさんの人たちが、いっしょに生活を始めました。きびしい寒さや、十分にえいようをとれない中、ぐあいの悪くなる人が出てきました。毎日のんでいたくすりがなくなつてこまる人もいました。水道が使えないので、食事の時に手を洗うことができないなど、えい生面の心ばいもありました。そのために、いろいろなルールも決まりました。

そうした中、病院からお医者さんやかんごしさんが来て、病氣の人たちをみてくれました。学校のほけん室や教室に、小さな病院ができました。



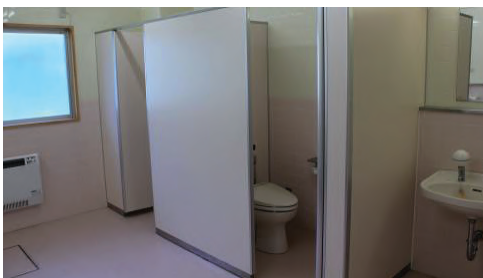
びょうき
〇病気になるために じぶん
～自分たちにできること～



て
手はいつもきれいにしましょう。

みなさんの手はいつもきれいにしておかないと、いろいろな病気になるてしまいます。手をあらったあとは、しょうどくえきなどをつかって、きれいにしょうどくしましょう。

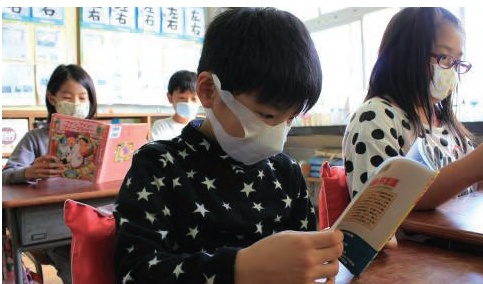
じぶん
自分ができそうなこと…



つか
トイレはいつもきれいに使いましょう。

トイレはみんながつかう場所です。いつもきれいにしておくために、よごしてしまったら、きれいにそうじをしましょう。

じぶん
自分ができそうなこと…



かぜやインフルエンザのよぼうのために
マスクをしましょう。

避難所は、たくさんひの人が生活しています。かぜやインフルエンザなどの病気にかかってしまうと、一度に多くの人におうつてしまうかもしれません。かぜなどがはやっているときは、たがいにマスクをつけて、病気が広がらないようにしましょう。

じぶん
自分ができそうなこと…



あなたが考えたみんなで生活するときに気を付けることを書きましょう。
